

コード No. 18321

**Anti-Human
c-Met β Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 μ g

-
- はじめに : c-Met は、HGF のレセプターです。その構造は、 β 鎖にチロシンキナーゼドメインおよび膜貫通ドメインならびに細胞外ドメインを持ち、その β 鎖に細胞外ドメインの α 鎖が結合したヘテロダイマー構造をとります。c-Met は主に上皮細胞に存在し、肝臓や腎臓に特に多く見られ、消化管や前立腺、精嚢、乳腺にも認められます。脳のミクログリア細胞や、単球やマクロファージにも認められます。c-Met はその機能からこれらの臓器や細胞での HGF による増殖、運動、器官形成などのシグナルを伝達していると考えられています。
- 免疫抗原 : Human c-Met β の C 端部分合成ペプチド (DNADDEVDRPASFWETS)
- 精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製
- 包装形態 : 1 % BSA、0.05 % NaN_3 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 μ g/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 $^{\circ}\text{C}$ 保存 5 年間安定
溶解後 -20 $^{\circ}\text{C}$ 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 2~5 μ g/mL にて使用可能
(ホルマリン固定・パラフィン切片 : マイクロウェーブ処理が必要)
ウエスタン・ブロッティング 2~5 μ g/mL にて使用可能
- 特異性 : c-Met β 鎖と反応 肺癌 (文献 1)、子宮癌 (文献 2)にて確認
- 参考文献 : 1. Ichimura E, Maeshima A, Nakajima T, Nakamura T. Expression of c-met/HGF receptor in human non-small cell lung carcinomas in vitro and in vivo and its prognostic significance. Jpn J Cancer Res. 1996 Oct;87(10):1063-9.
2. Wagatsuma S, Konno R, Sato S, Yajima A. Tumor angiogenesis, hepatocyte growth factor, and c-Met expression in endometrial carcinoma. Cancer. 1998 Feb 1;82(3):520-30.